

令和5年度 学校評価

本校では、毎年「赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン」に基づいた評価を実施しています。結果は下記の通りです。

継続課題であった「国際交流」の領域は、IT活用のための環境が整備されてきたことにより、オンラインを活用した取り組みの幅が広がったことに加えて、海外での活動をしている講師から一時帰国のタイミングでの実感を伴う講義を実施できたことや、国際シンポジウムや学生企画への参加体制がとれました。引き続き安心安全でよりよい学校運営を目指してまいります。

評価領域	令和5年度	令和4年度
I 教育理念・教育目的・教育目標	4.0	4.0
II 学校運営	4.0	4.0
III 教育活動	4.0	4.0
IV 学修成果	4.0	4.0
V 学生支援	4.0	4.0
VI 教育環境	4.0	4.0
VII 学生の募集と受入れ	4.0	4.0
VIII 財務	4.0	4.0
IX 法令等の遵守	4.0	4.0
X 社会貢献・地域貢献	4.0	4.0
XI 国際交流	4.0	3.5
平均	4.00	3.95

4段階評価 4:できている 3:まあまあできている 2:あまりできていない 1:できていない

【保護者アンケート結果より】

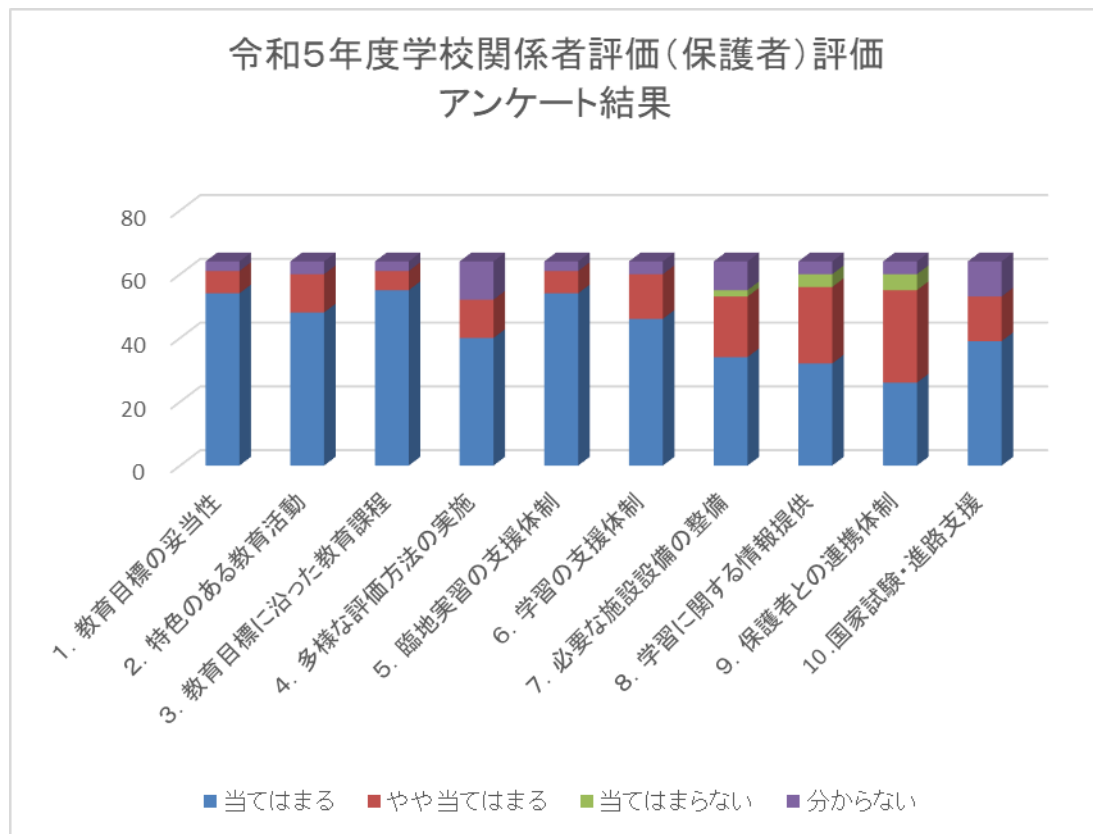
保護者の方々に学校関係者評価にご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。
今回からGoogleフォームでの回答をお願いし、回収率は55.2%（昨年と同程度の回収率）でした。
「当てはまる」「やや当てはまる」合わせて90%を超えている項目が「1. 教育目標の妥当性」「2. 特色のある教育活動」「3. 教育目標に沿った教育課程」「5. 臨地実習の支援体制」「6. 学習の支援体制」となっており、新カリキュラムなどの時代のニーズに合わせた教育実践に力を注いでいる点を理解していただけているようでした。

他の項目もすべてが「当てはまる」「やや当てはまる」合わせて80%以上となっていました。

「保護者との連携体制」では、状況をみながら式典等の機会に保護者会も開催していく予定です。

今後の課題としては、安心安全な学校運営の継続、3年生の国家試験合格に向けての学習支援、1・2年生に対しては、感染症予防を継続しながら、赤十字看護学生のボランティア活動の拡大と学校行事の充実、受験生確保等を考えています。

最後に、学校運営への励ましや教育内容、臨地実習指導において感謝のお言葉を多数いただきました。誠にありがとうございました。



【ご意見（抜粋）に関する回答】

1. 体調不良により、やむを得ず欠席する際受診しないといけない、と聞きました。市販薬等で様子を見て受診を考える等、体調不良時の判断はいろいろあると思いますので考慮していただきたい。

⇒カリキュラム履修の条件に出席時間数があります。出席時間が不足した際に補充講義を受けるためには、「やむを得ない事由」の欠席であると認められる必要があります。（学生便覧 補充講義・補充実習・再実習についての規定）

受診を強制するつもりではないのですが、出席時間が不足してしまった時のことを考えて、できれば受診をしておいた方がよいのでは（受診を証明するものが必要なので）と、すすめることがあります。最終的にはご自身の判断での受診をお願いしております。

なお、臨地実習の場合は、実習先からの指示により実習継続のためには、必ず受診をお願いする場合があります。

2. 進学のご案内、推薦などの情報があったら頂きたい。

⇒本校では、ほぼ毎年1名程度、助産師学校へ進学しています。

入学時より毎年、担任面談の機会には、進学希望についてお聞きし、学習のすすめ方等についてアドバイスをしております。卒業生で助産師として働いている先輩を招いての座談会も開催しております。

助産師学校は、学校あてに募集要項が届いた場合は、進学希望の学生を呼び全員に内容を伝えるようにしております。学生自身で、様々な情報を集めて学校を探していることも多いです。近年は「独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校」に推薦での進学がございました。他に、助産師学校ではないのですが、看護学を深めたいという理由で、日本赤十字看護大学等の3年次編入試験を受けて進学した卒業生もおります。

学校へ送付されてきた募集要項等については、学生が閲覧できるように図書室に設置しております。